

令和5年度子育て支援に関するニーズ調査及びひとり親家庭実態調査 調査実施概要

1 調査の目的

令和7年度から11年度までの5か年度を計画期間とする「第三期中央区子ども・子育て支援事業計画」の策定を令和6年度に予定しており、基礎となる資料を収集するため、「子育て支援に関するニーズ調査」及び「ひとり親家庭実態調査」を実施する。

2 調査対象

以下3つの調査を実施する。

調査名		調査対象	前回回収率 (H30)
調査 1-①	子育て支援に関するニーズ調査 (就学前児童保護者調査)	就学前児童を持つ保護者、約5,400人 (調査時0～5歳人口の約50%)	54.4%
調査 1-②	子育て支援に関するニーズ調査 (小学校児童保護者調査)	小学校児童を持つ保護者、約4,800人 (調査時6～11歳人口の約50%)	54.6%
調査 2	ひとり親家庭実態調査	区内在住の児童育成手当受給資格者、 約900人(悉皆調査。ただし、「子育て支援 に関するニーズ調査」の対象者として抽出 された者を除く)	50.9%

3 調査方法

郵送配布、郵送・インターネット回収（お礼状兼督促状を1回送付）

4 調査実施時期

令和5年10月下旬～11月下旬

5 調査周知方法

区のおしらせ ちゅうおう、区ホームページ、区公式 SNS 等で周知する。

6 今後の予定

令和5年 7月19日：第1回中央区子ども・子育て会議（調査票の意見聴取①）
9月6日：第2回中央区子ども・子育て会議（調査票の意見聴取②）
10月下旬：調査票の発送（回収期限11月下旬）
令和6年 1月下旬：第3回中央区子ども・子育て会議（速報値の報告）
3月下旬：第4回中央区子ども・子育て会議
(最終報告、次期計画策定に向けた方針の検討)

7 調査実施方針・ポイント

Point1 「こどもまんなか社会」の趣旨を踏まえた基礎調査とする

- 本調査は、令和 6 年度に改定を予定している中央区子ども・子育て支援事業計画について、中央区基本計画 2023 や中央区保健医療福祉計画 2020 との整合をはかりつつ、こども家庭庁が掲げる「こどもまんなか社会」の趣旨を踏まえた計画としていくために、子育て世代を中心とした多様な声を把握し、計画の推進における本区の課題と今後の方向性を検討する基礎調査として実施します。

Point2 ライフスタイルや保育等事業のニーズの変化を把握する調査とする

- 本調査では、コロナ禍を経て変化した働き方、ライフスタイル、教育・保育事業、子ども・子育て支援事業の利用ニーズ等を把握します。
- 調査実施にあたっては、パソコンやスマートフォンを日常的に活用している子育て世帯のライフスタイルに対応し、回答の利便性を高めるよう、郵送に加えてインターネット回答を併用するとともに、わかりやすさ、回答しやすさを工夫し、回収率のアップを目指します。また、自由回答でもたくさんの声を集め、大項目をもとにテーマに沿ってまとめ、分析します。

Point3 悩みや困難な状況を抱える子育て家庭を把握し、包括的な相談・支援を検討する

- 悩みや困難な状況を抱える子育て家庭の実態を把握し、潜在的な問題の発見、現状と支援のギャップを分析し、組織の垣根を越えた包括的な相談・支援のあり方を検討していきます。

Point4 子育て世帯の地域コミュニティへの期待、参加意向等を把握する

- 子育て世帯が地域のコミュニティに期待すること、また、将来的に地域による子育て支援活動に参加する意向があるか等を把握し、子育てにおける不安や悩みを互いに共有し、助け合う、「地域の中での子育て力」のさらなる強化に向け検討します。